

真岡市庁舎



市民の丘「もおかテラス」を核に「市民と行政」「市民と市民」のつながりを紡ぐ庁舎 ■五行川親水公園からの景観

敷地は市の中心を走る県道と五行川が交差する場所に位置する。十分な広さのある敷地特性を生かし、1階は大きな平面として市民利用頻度の高い窓口を集約し、その屋上に多様な市民活動が可能な「もおかテラス」を配置した。「もおかテラス」と駐車場はスロープで緩やかに繋がり、祭りやイベントで一体利用できる。夏祭りでは、神輿が五行川を勇壮に「川渡御」した後に対岸から花火が打ち上げられ、庁舎全体が栈敷となる。真岡の名前の由来ともいわれる「美しい丘」の原風景をイメージしたオープンな大地「もおかテラス」を核に「市民と行政」「市民と市民」のつながりを紡ぐ庁舎を目指した。

市民プラザ
テラスと一体で利用できる多目的空間。日常は市民と職員のための休憩・交流スペースとなる。学校帰りの学生達も自習スペースとして利用している。

■もおかテラスからみた市民プラザ

もおかテラス
市の中心部から五行川へ通り抜けられるオープンスペースを設けることでいつでも気軽に利用できる。各種イベントに対応でき、夏祭りでは花火の栈敷席にもなる。

多目的な駐車場
夏祭りでは山車屋台のぶっつけが行われる等、様々なイベントに利用される。

■山車屋台のぶっつけ

■神輿の入水

■夏祭りの花火

もわかテラスと五行川親水公園をつなぐ芝生広場

五行川

夏祭り花火打ち上げ会場

■南東側からの鳥瞰。庁舎に沿って利根川水系の五行川が流れる

スロープ
もおかテラスと駐車場での様々な連携を考慮し、車両が行き来できるスロープを設置。キッチンカーなどイベント対応車両の乗り入れが可能な計画。

■もおかテラスと駐車場を繋ぐスロープと階段

真岡木綿をモチーフとした日射遮蔽ルーバーにより環境性能を向上し市民に親しまれる景観形成



■縦糸と横糸が重なり合うような繊細なルーバー



■幹線道路に面する北側の景観

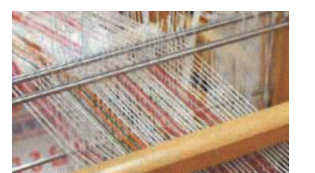
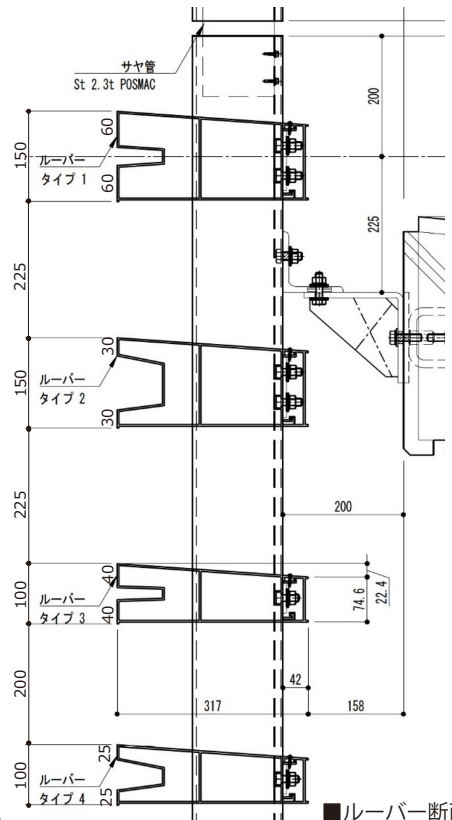


■北東側交差点からの景観

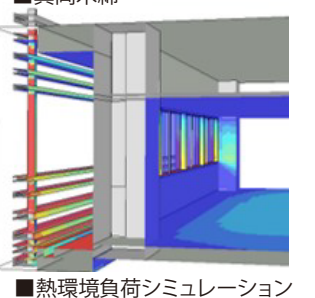


■東側多目的駐車場からの景観

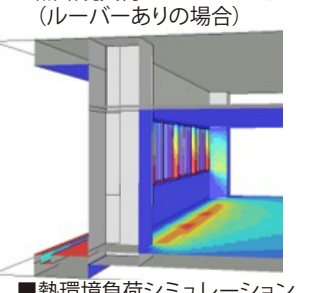
「人と人とのつながりを紡ぐ庁舎」のイメージとして、真岡市の伝統工芸である「真岡木綿」モチーフとしたルーバーと外周バルコニーにより、日射による熱負荷削減と視線を制御。BIMを用いたシミュレーションにより断面を決定した。ルーバーは織物のような表情を出すため先端を二段形状とした4種類の横ルーバーを組み合わせ、均質な中にも繊維らしい不規則性を持ち、縦糸と横糸が重なり合うような繊細な外観とした。



■真岡木綿



■熱環境負荷シミュレーション (ルーバーありの場合)



■熱環境負荷シミュレーション (ルーバーなしの場合)